

1

元木さんの学級では、きょうみをもった人物について調べ、スピーチでようかいし合うことになりました。元木さんは、渋沢栄一さんについて調べ、メモをもとに資料を画面にうつしながらスピーチの練習をしています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチ」、「資料①」から「資料④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

〔はじめ〕
 ○ 話題の提示 〈資料①〉
 ・ 新一万円札の「顔」
 ・ 渋沢栄一さんの説明

〔中〕
 ○ 渋沢さんの業績 〈資料②〉
 ・ 業績1 日本初の銀行の映像
 ・ 業績2 会社の設立に関わる
 ・ 業績3 日本女子大学校設立
 〈資料④〉

〔終わり〕
 ○ 自分の感想

【スピーチ】

（〈資料①〉を示す）みなさん、これを見てください。今度新しい一万円札の「顔」となるのは、渋沢栄一さんです。テレビ番組などでもよく見ますね。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

渋沢さんは、およそ五百もの企業の設立や育成に関わった「近代日本経済の父」とよばれる実業家です。そんな渋沢さんのすばらしさがわかる業績の中から、三つの業績をしようかいたします。

（〈資料②〉を示す）一つは、「日本初の銀行」を開業したこと。日本で初となる国立銀行である「第一国立銀行」を設立したのが渋沢さんです。この銀行は、日本の銀行をささえてきました。また、渋沢さんの指どろにより、多くの地方銀行も設立されました。この渋沢さんによる金ゆう機の整備なくして、日本が経済大国として外国と力をならべることはなかったそうです。

（〈資料③〉を示す）もう一つの業績は、さまざま

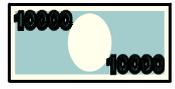
② 渋沢栄一の業績1



日本初の銀行
第一銀行 Wikipedia より

〈資料②〉

① 新一万円札の「顔」
 渋沢栄一（1840～1931）



〈資料①〉



まな種類の会社を設立したことです。その数は五百以上であり、多くが今の日本経済をささえる大企業として活やくしています。設立に関わった企業の多くが成功をおさめていることからして、渋沢さんが「近代日本経済の父」とよばれるのにふさわしい人物であるといえるでしょう。

（資料④）を示す）三つめの業績は、社会活動にも積極的に取り組んだことです。「国をゆたかにするために、利えきを社会へ還元すべきである」とする考えのもと、渋沢さんは、教育の発展にもおしみなく力をそそぎました。その一つに、

日本女子大学校があり、渋沢さんは、設立に関わっています。明治時代まで女子に高等な教育があったえられる機会ほとんどありませんでした。渋沢さんによる教育機関への協力は、女せいが社会で活やくするきっかけとなったのです。

「一人一人の思いを同じ方向に向けて、よりゆたかな世の中を實現させる」というのが渋沢さんの考え方です。今から百年以上も前のことばが、私たちに大切な考え方を伝えてくれていると思えます。日本の経済のもととなる道すじを作った渋沢さんが、新しいお札の「顔」となることが楽しみです。

〈資料③〉

③ 渋沢栄一の業績2
五百以上の
会社の設立に関わる

〈資料④〉

④ 渋沢栄一の業績3
1948年
日本女子大学校設立

※ 企業：物をつくったり売ったりして、お金をもうけるための事業。また、その組織。
※ 還元：結果としてえられたものを、原いんとなった所にもどすこと。（ウェブページ「渋沢栄一は何をした人なのか？生い立ちや功績の数々を徹底解説！」より作成。）

一 元木さんは、「スピーチメモ」を作り、「スピーチ」の練習をしています。業績をよりわかりやすく伝えるために、元木さんはどのような構成で話していますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

- 1 感想を印象づけられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。
- 2 事実と感想とを区別できるように、「中」で業績、「終わり」で自分の感想を話している。
- 3 事実と感想とを関係づけられるように、「中」で三つの業績と自分の感想の両方を話している。
- 4 二つの事実を区別できるように、「はじめ」で一つの業績、「中」でもう二つの業績を話している。

二 元木さんが「スピーチ」の練習で、〈資料①〉と〈資料②〉を使った理由の説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号に○をつけましょう。

- 1 特に伝えたいことの要点をまとめてを示すことで、聞き手の理解を助けるため。
- 2 自分の疑問点を示すことで、聞き手にもいつしよに考えてもらおうため。
- 3 映像や写真などを提示することで、聞き手が具体的にイメージしながら聞いてもらうため。
- 4 スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらおうため。

二 一 1 解答
3 2